

福岡ランニングセンター(FRC)ニュース NO.47

発行日 2019年11月22日

発行責任者 西村文男

事務局 新日本スポーツ・福岡県連盟北九州事務所 〒806-0013 北九州市八幡西区清納1丁目1-10

TEL・FAX 093-662-9278

E-mail krc-fn@jcom.home.ne.jp

「第30回みずまき月例マラソン」

満開のコスモスが歓迎！

第30回みずまき月例マラソンを11月17日(日)開催しました。今回は雨天や水溜りの心配もなく、当日を迎えることが出来ました。会場設営中は冷たい北風が吹いていましたが、レース中は風も弱まり曇り空で時折日差しが差す中、ランナーの皆さんは咲残りのコスモスを眺めながら気持ちよく走れたかと思えます。



先頭を走る大隈 暁さん



最高齢の浦田重信さん

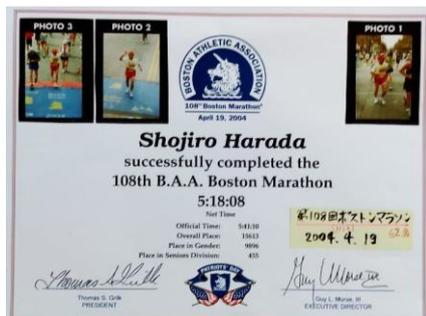
今回最高齢は浦田重信さん。78歳とは思えない軽快な走りをしていました。20年近く前(北九州ランニングセンター主催の)月例マラソンに参加していたという高齢の女性から声を掛けられ、声援を受けました。

参加者は58名、うち新規登録者は6名でその中には北九州ランニングセンターのゼッケンを持参された方も複数いらっしゃいました(お帰りなさい)。これで、登録者合計は300名の大台に乗りました。

今回もフルーツマトや飴玉の差し入れを頂きました。ありがとうございます。最後にランナーの皆さんにお願いです。(大会のスムーズな運営の為)ゼッケンは必ず前後に付けていただくようにお願いします。

第5回のおがた新春マラソン定員に迫る！

来春1月12日(日)開催の「第5回のおがた新春マラソン」の参加受付は11月21日で締め切りました。現在集計中ですが3^{キロ}153名、5^{キロ}97名、10^{キロ}243名、20^{キロ}949名、合計1,442名になりました。



ボストンマラソンの記録証

目指す聖火ランナー 原田祥二郎

46歳のころから趣味で走り始め、5^{キロ}・10^{キロ}やハーフマラソンなどの大会に出場し、1年後には香川県内のフルマラソン大会に出走。結果、3時間30分で見事にゴールした。うれし涙が出たことを覚えている。その後、北海道や沖縄県まで走り、さらに海外の大会にも妻を同伴し、観光も兼ねて行った。走ることは生きがいそのものだった。

ハワイの「ホノルルマラソン」では妻と一緒に8時間ほどかけて走ったこともある。中国、韓国、豪州、タイ国のほか米国の「ボストンマラソン」にも参加したものだ。そして66歳の時、フルマラソン完走回数が107回目となる「東京マラソン」を最後にウォーキングに転向している。

しかし、12月に当選発表がある「東京2020オリンピック聖火リレー・福岡県ルート」の聖火ランナーに応募している。万が一、当選したら、練習して走り、我が人生に花を添えたい。

《役員だよ！》

東京五輪のマラソン代表の残り1枠を目指す戦いが12月の福岡国際から始まります。会場が東京から札幌に急ぎよ変更し、戸惑ったランナーもいたと思いますが、気持ちも新たにチャレンジしてほしいものです。男子は日本記録更新のタイムで走らないと代表を勝ち取れないという程、そのハードルは高いものがあります。大迫、設楽両氏の出場や思惑はどうなんでしょう。晴れ舞台への切符は誰の手に。男女とも目の離せないレースが続きます。 (孝)